

道協会支部の確立・調査研究チームの設置 迫る！今後の新体制を検討する5.24総会



※写真はイメージ

新年度がはじまり、はや1カ月。帯広市介護支援専門員連絡協議会でも、昨年度の活動を振り返り、新年度の事業計画を検討する総会の時期を迎えることとなりました。

今年度は、お届けした「事業計画原案」に掲載のとおり、新たな活動内容や体制を検討します。是非ともご都合をつけていただき、総会・研修会にご参加くださいますようお願い致します。

◇開催日：平成20年5月24日(土)

◇時間：(受付)12:00～

(定期総会)12:30～14:30

【公開講座】15:00～17:00

「在宅ターミナルケア」

講師：東札幌病院訪問看護ステーション 田村みどり 氏

◇会場：とかちプラザ レインボーホール



※写真はイメージ

●profile

たむら みどり／1959年生まれ。北海道大学医学部附属看護学校卒業。北海道大学医学部附属病院看護師を経て、91年より訪問看護ステーション東札幌所長。専門は在宅ホスピスケア。介護支援専門員

スーパービジョン研修用 DVDまだまだ貸出中

「気づきの事例検討会—スーパービジョンの要素を取り入れて実践力を磨く」
(渡部律子：監修／奥川幸子：協力)

スーパービジョンによる事例検討会とロールプレイが入った90分間のDVD。スーパーバイザーがいないなか、どうやって実践力を高めていけばよいのか…。

現場実践者の多くがぶつかっている悩みに応えるDVD。

【借りたい方は】

申込用紙（HPにあり）に記入し、事務局の社会福祉協議会までFAX（＝21－3240）にてお申し込み下さい。



◆◆コミュニティ・レポート◆◆

私たちができること、地域でこそできること・・・
＝大空連合自治会で福祉懇談会＝

地域包括支援センター帯広けいせい苑 東村 智之

この度、連合自治会の福祉部長様より、「地域包括支援センターとして2年間活動してきた感じている、大空地区の高齢者の生活や地域の課題等について話題提供していただき、一緒に今後の活動に関して意見交換しませんか？」とのお誘いをいただき、4月18日（金）19：00時より、大空連合自治会福祉部長・高齢者部長会議（兼福祉懇談会）にお邪魔してきました。

準備段階では、連協を通じて「大空地区の要介護高齢者及びご家族の生活等に関する調査」を実施、約10事業所より回答が寄せられました。ご協力いただきました事業所の皆様、ありがとうございました。

当日は、調査でお寄せいただいた情報も含め資料を用意、約40分ほど情報提供をさせていただいた後「私たち（専門家）ができること、地域でこそできること」等に関して意見交換する時間をいただきました。



参加者からは、「大空高齢者・あんしん便利帳（今後住民と協働で作成予定）があると安心ですね」、「改めて地域住民として出きることを頑張ろうと感じた」、「まずは地図上に1人暮らし高齢者、高齢ご夫婦を色別シールで整理するのはどうか」、「困った時に相談できる場所がわかって安心しました」等など、さまざまな意見が出されました・・・。

先述のアンケートの回答の中には、「地域のどんな組織がどんな活動をしているのかわからない」、「インフォーマル支援を誰にお願いすれば良いのかわからない」といった回答が目立ちました。

「こんなご近所さんいないかなあ？」・・・と頭をよぎった時には是非とも、担当地区の地域包括支援センターまでご相談下さいませ。

「ケアマネジメント力のさらなる向上へ！」 専門職の倫理は法令順守の利用者支援

【レポート】 第2回 日本介護支援専門員協会全国大会

居宅介護支援事業所花びより 高田 緑



日本介護支援専門員協会が発足して昨年の東京大会に続き今年度は大阪で全国大会が開かれ参加してきました。第1回目の東京大会に比べて、2400名と参加者数が多く盛大に開催され、分科会も9つあり初年度に比べ充実されてきたなーという印象でした。大会テーマは「ケアマネジメント力のさらなる向上へ！」でした。その中で印象に残ったことをお伝えします。

鼎談の中で、医療法人社団博腎会 野中医院 野中院長より、「悪貨は良貨を駆逐する」・・・そうならないように自浄作用を働かせなければならないということや倫理委員会の活動報告の中で木村会長より「ケアマネジメントが徹底して正しく運用されれば、国民は安心して介護保険を利用でき不正も起こりません」と言及されました。

介護支援専門員として一人一人がこのことを重く受け止めて、法令順守のもと利用者支援をしていくこと、いわゆるケアマネジメントをしていくことがケアマネジャー専門職の倫理。良い制度になるのかどうか中心を担う私達介護支援専門員にかかっていることを帯広の連絡協議会皆様にお伝えしたいとピックアップ報告させていただきます。

ちなみに開催日は2月16.17日で梅の花が満開かとおもいきや、帯広より寒く雪がぱらつく大阪でした。参加することでいつも自分の業務を振り返る機会になりさらに研鑽しようという気持ちにさせてもらえる大会ですので、来年は帯広からも多くの方の参加をお勧めします。

【専門部会員の声】 自分の努力不足を痛感

居宅介護支援事業所ふれあい
森田 真理

ケアマネの仕事をしてから、現在も仕事に対し、勉強不足もありわからない事ばかりで不安を抱える毎日です。

帯広市介護支援専門員連絡協議会に参加させていただく様になり、皆様にお会いし話しを伺っていると自分の努力の足りなさが身にしみます。

今後も時間の許す限り、勉強会に参加させて頂き仕事に繋げて行けたらと思います。

相談する人もなく困っていた時誘われて・・・

更別村社会福祉協議会 居宅介護支援事業所
荻原 悦子

研修内容はいつも旬な内容でとっても勉強させていただきありがとうございます。またいつも研修部の皆さんご苦労様です。

残念なことに、南十勝には「ケアマネの輪」の場がなく、相談する人もなく困っていた時に太陽園の小室さんに声をかけていただき、平成15年の「勉強会」時代から参加させていただいております。皆さんから「遠いのに大変だね」と労いをうけますが、帯広市までは30分と、そんなに遠くないんですよ。人口3600人の村で市街地からはなれると熊が出没するところもありますが・・・(笑)

また私は、今年居宅サービスから地域密着型介護老人福祉施設サービスへ仕事を変える事になり、新たな環境への戸惑いと期待とが入り混じった心境であります。これからも可能な限り参加させていただきたいと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。



PS:「ヘルプマン」という漫画を知っていますか？介護支援専門員編とか、認知症編など、とてもリアルな介護保険漫画です。ナミダなくしては読めない感動の連載です。現在、全9巻が発売中。みなさんも是非一度読んで！ほんとマジおもしろいからっ！！



連協は自分にとってのオアシス

地域包括支援センター愛仁園 富原 慎

高齢者福祉の分野で仕事を始めてから早2年が経ちました。

障害福祉に9年かかわってからのコンバート！自身の視野の狭さをあらためて実感し、一からのスタートという思いで勉強したものの、実際の現場では「机上の空論」、得た知識をどうしたら利用者さんのために活かせるのか自問自答する日々が・・・。

そんな思いを抱えながらケアマネ連協学習会のドアを叩き、事例検討・伝達講習・講演会等々に参加させていただいています。今では、諸先輩方のテクニックを盗み(言葉悪くてすいません)、様々な情報を教えていただき、自分にとっての「オアシス」のような場所になっています。

「これからの保健・医療・福祉の分野は横のつながりが大変重要！」という言葉をよく耳にします。

帯広ケアマネ連協を通して、皆さんとのネットワークをさらに広げたいと考えていますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。